

セッション 15 : 司会の言葉

星 永 進

埼玉県立循環器呼吸器病センター呼吸器外科

奥村先生の発表された症例は原発性肺癌で、中山先生の発表された症例は再発例でした。両症例とも施設によっては通常は対症療法しかできないような症例だったと思います。しかし、このように抗癌剤が効果を示す例もあるということは、医師のみならず患者さんや家族にとっても朗報だと思います。しかしすべての症例に当てはまるわけでは無いと思われまので、今後どのような症例に積極的に行っていけばよいのか見極めていくことが必要になると考えられます。また効果を示して CR になった場合いつまで治療を続けるのかも明らかになっていませんので、今後検討していく必要があると考えます。